

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(2年目)案件:2006年9月分

番号 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 小樽商工会議所【OTARU-ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

(実行委員会)

●ワーキング・グループ会議での本年度の国内・海外・小樽市内での展示会実施希望がまとまったのを受けて、9月20日、書面協議による実行委員会を開催し、次のとおり開催することが承認された。

<海外> 太平洋そごう「小樽ガラス展」の開催(台湾 台北市)

実施期間:平成18年12月1日(金)～12月7日(木)

<国内> 東京テーブルウェアトレードショー2007への出展(幕張メッセ)

実施期間:平成19年1月16日(火)～18日(木)

<小樽市内> 第9回小樽雪あかりの路に開催にあわせた「小樽ガラス展」の開催(場所未定)

実施期間:平成19年2月9日(金)～18日(日)

(ワーキング・グループ会議)

●9月6日、第2回ワーキング・グループ会議を開催し、結論が保留となっていた海外での展示会・市場調査先について、昨年に引き続き台湾・台北市において開催することをワーキング・グループ会議での結論とし、日程については事務局で調整した上で、実行委員会に諮ることとなった。



(その他)

●平成17年度JAPANブランド事業で参加工房が制作し、当所にて保管している「ガラスの浮き玉の色」をイメージカラーとした試作品をJAPANブランド事業以外でも広く知っていただくと考え、展示先からの貸出申請があった場合、一定の条件のもと試作品の貸出を行うこととした。その結果、9月には以下の2件について試作品を貸出し展示が行われた。

1. 展示会場:ギャラリー白方(小樽市稲穂2丁目14-1)

展示期間:平成18年9月1日(金)～9月17日(日)

2. 展示会場:小樽商科大学地域活性化セミナー(紀伊國屋書店札幌店3階)

展示期間:平成18年9月29日(金)

<担当者のコメント>

昨年度制作した試作品の貸出展示については、小樽のガラス工房を知っていただく、作品を広くみていただく意味において非常に効果のあることで、実際、上記2回の貸出展示では、新聞やテレビで報道されるなど多くの来場者があった。今後もこうした機会があれば積極的に貸出を行ってきたい。

実行委員会において、本年度の展示会活動が承認されたことから、今後各展示会に向けた具体的な準備に入っていくが、海外での実施場所について参加事業者からなるワーキング・グループ会議で協議した際、出席者からは、昨年の結果を活かす必要性や事業の継続性を考える意見が出され、他の地域でやるよりも台湾でもう一步踏み出す方が良いとの結論で一致した。当初は、

広く小樽のガラス工芸品をPRする意味から、他の東アジア圏(香港、韓国)での実施も視野に入れていたが、販路拡大につなげていくためには、せっかくできたパイプを着実に太くしていく可能性を参加事業者の方々が選択をしたということと考える。

2. 旭川商工会議所【『旭川家具』ブランド確立推進事業】

＜今月の事業実施状況＞

東京のTOC有明に於いて展示会「旭川家具コレクション 2006 TOKYO」11月22日～11月25日迄を開催し、作品の評価を国内において調査することが目的であり、参加企業は試作品の製作に取り組んでいる。

この東京展示会開催を9月29日に東京においてプレス発表を行った。

プレス発表には、家具・インテリア専門誌の記者21名が出席し、長原旭川家具ブランド確立推進委員長より挨拶後、今回の展示会をプロデュースしているアール・クロス プロデューサー 西川律子氏から概要の説明を行った。

＜担当者のコメント＞

今回のプレス発表は出席者30名を予定していたが、21名の出席者と少なかったが、出席した記者からは好意的な質問が多く旭川家具を応援してくれていると実感した。

3. 弘前商工会議所【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】

＜今月の事業実施状況＞

1. 9月6日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品製作WG 塗り模様打合せ
2. 9月8日(金)15:00～21:00 新商品開発試作品製作WG 国内市場調査細目最終確認打合せ
3. 9月12日(火)10:00～11:30 (株)カッシーナ・イクスシー展示打合せ
13:00～18:00 打合せ 商品評価可能性調査
9月13日(水)11:30～15:00 商品評価可能性調査
15:00～20:00 商品評価可能性調査
4. 9月14日(木)10:00～ (株)カッシーナ・イクスシー展示販売開始
5. 9月15日(金)10:00～11:00 打合せ
6. 9月19日(火)～23日(土) 青森県主催中国大連商談会参加
商談会9件、個別商談6件実施
7. 9月25日(月)10:00～12:00 (株)カッシーナ・イクスシー大阪店商品展示打合せ
8. 9月27日(水)16:00～21:00 新商品開発試作品製作WG 試作品目打合せ

4. 東通村商工会【「飛躍する未来へ!!「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト】

＜今月の事業実施状況＞

9月12日(火)商工会においてJAPANブランド育成支援事業「飛躍する未来へ!!ひがしどおり海山喰(か)さまい創出」プロジェクト、第1回海の幸ブランド開発部会(部会長:三國優)地酒ブランド開発部会(部会長:山崎孝悦)既存商品改良部会(部会長:杉本稔)を行った。ブランド開発及び商品改良について今年度実施する干し貝柱・干しアワビ・干しナマコセット、みそ貝焼きセット、ジュラ紀湧水仕込み「吟醸酒」開発及び昨年度開発したジュラ紀湧水仕込み特別純米酒「祈水」の古酒づくりやジュラ紀湧水仕込み特別純米酒「祈水」の能舞演目シリーズ化に取り組むことが決定した。



第1回海の幸ブランド開発部会(9/12)

豊かな自然の中で育った海と山の幸、おいしい水をキーワードに、地域の素材にこだわった高級志向・健康志向製品を開発。国内は横浜等、海外は中国大連等で市場調査、展示会や商談会を開催し、販路の開拓拡大を目指し、イメージキャラクターや商品パッケージの製作も行うことが

併せて決定した。10月(予定)の第2回合同部会でさらに検討し今後展開していく。

また、9月21日(木)には4人のアドバイザーが中国で市場調査及び青森県が主催する中国大連ビジネス商談会に行き、

- (1)市場調査…市内デパート、市場、市場調査を行い(太平洋百貨店付近)「ホタテ干し・貝柱干し あわび・干し海鼠」が普通に売られており値段は、ピンキリ。1番多いのが海鼠商品であり、塩蔵品が1番多く、次に干し海鼠等となっていた。
- (2)中国大連ビジネス商談会…事前に6社が商談にエントリーしていたがサンプルを見て3社が追加計9社と話すことができた。事前6社のうち3社が輸出業者だったため断り、他の6社と商談。サンプルを見てすばらしいものだと評価を受けた。皆干しているものなので戻した状態のものを見てみたいとのことなので、11月フラマホテル大連で展示・商談会及び東通村美食「ほたて」キャンペーンの話をし、正式な商談はその時に持ち越した。
- (3)フラマホテル大連との交渉…11月中旬から下旬にフラマホテル大連で展示・商談会及び東通村美食「ほたて」キャンペーンを開催に向けた話し合いを行ない、2イベントで干しホタテ貝柱約30kgをこちらで提供し創作料理を作成してもらい11月22日(水)に展示・商談会を開催し、23日(木)から数日間(未定)を東通村美食「ほたて」キャンペーンを行なうことで決定。



中国大連での商談会(9/21)

5. 山形商工会議所【山形発「カロツツェリア型ものづくり」のブランド展開】

<今月の事業実施状況>

9月5日、山形県文翔館において、山形工房が今年1月、フランス「メゾン・エ・オブジェ」に出展した製品を一堂に展示しての「皇太子殿下御覧」があり、あわせて一般公開が行われた。当商工会議所でも、JAPANブランドに関連する事業として、山形県及び山形カロツツェリア研究会とタイアップして、一般公開の周知PRを行った。

<担当者のコメント>

皇太子殿下に山形工房の製品を御覧頂いたことは大変名誉なことであり、開発を担当した各企業の皆様も大変喜んでおられました。また、その後の一般公開でも、訪れた来館者の皆様から多数お褒めの言葉を頂き、当会議所としても、今後ともプロジェクトの普及啓発に一層務めて参りたいと感じているところです。

6. 会津若松商工会議所【BITOWA FROM AIZU】

7. 川口商工会議所【「Casting Innovation 新・川口鋳物の創造」】

<今月の事業実施状況>

第4回プロジェクト委員会を開催。4人のデザイナーに作成いただいたデザインから、本年度に試作・商品化するデザインを決定した。この選定にあたっては、消費者49人、アドバイザー3人を招いて、消費者ニーズとプロジェクトのブランドコンセプトの共通の着地点を見出しながら行った。

<担当者のコメント>

デザインは、川口らしい鋳物の質感を持つものが選ばれました。今後は試作、制作の段階に入りますが、併せてもっとしっかりしたブランド戦略について、全関係者が共通認識として持つ必要があると感じました。

8. 富士吉田商工会議所【海外展開ブランド支援事業『プロジェクト Fuji-façonné(フジ・ファソネ)』】

<今月の事業実施状況>

2007/2008年秋冬ものをターゲットとした試作品を製作し、これらの製品により9月6・7日フランスリール市でおこなわれたテキスタイル総合見本市(TISSU PREMIER)に出展。

	<p>○展示会概要 来場者数:5,662人(2日間) 出展国:19ヶ国 出展ブース:370ブース(370社)</p> <p>○Fuji-Façonné 出展概要 出展生地:5グループ310点 トレンドフォーラムノミネート:21点</p> <p>○引き合い状況 引き合い会社数:32社 引き合い点数:213点</p>
	<p><担当者のコメント> TISSU PREMIER 展の結果に関しては、数量的には若干、引き合いの点数が昨年度のそれを下回った。 その要因としてあげられるのは、ブースの配置が考えられる。今回展示会全体のレイアウトが大きく変更されたため、主催者側へ希望をリクエストしたものの、希望の位置に配置されなかったためである。 展示会におけるブースの配置は個々のブースの集客において大きな要因となり、今回はその部分でマイナスの要因となった。 これについては、既に主催者にも、フランス見本市協会にも1月展のリクエストは出しており、次回については、こちらの要望を考慮してもらえるものとする。</p>
9.	<p>三条商工会議所【SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>◇会議所内部での協議 当初、会員企業に参加を呼びかけ新規募集を計画していたところであるが、これまでの参加企業8社に絞込み、これまでの開発品と一部新規開発製品を加えブランド確立、販路開拓を進めることとなった。</p> <p>◇高岡市デザイン・工芸センター企画展実績 SANJO JAPAN ブランド開発商品を展示してのPR ・展示会名:「地方がつくるJAPANスタイル～伝統工芸産地の新たな挑戦～」 ・会 期:平成18年9月30日(土)～10月9日(月) ・会 場:富山県産業高度化センター ・来場者:主催者報告 1,000 人 ・主 催:高岡市デザイン・工芸センター</p> <p>◇「JAPAN BRAND at 三条・燕・加茂」の開催 JAPANブランドに取り組んでいる三条、燕、加茂の3会議所が合同で首都圏においてのPRについてJAPANブランド参加企業と展示品についての調整作業を進め、当日のアテンドなど要請した。 ・会期:平成18年11月28日(火)～12月2日(土) ・会場:東京日本橋NICOプラザ 2(日本橋三越本店向かい)</p>
10.	<p>燕商工会議所【“enn”ブランド育成支援事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 第2回委員会(9月19日)で、デザイナーから新商品・新企画が披露され、デザインと製造技術面とのギャップを埋めるため、個々に協議検討している。 9月30日から10月9日の間、高岡市サン・センター展示場で“enn”ブランドを展示、好評を博した。</p>



	<p><担当者のコメント> 11月末の東京日本橋、新潟物産館 NICO プラザ#2での披露を目指しているが、時間が無いことが心配。</p>
11.	<p>加茂商工会議所【桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/1 新製品打合せ 本年度試作品デザインについて、デザイナーによるプレゼンテーション。 ・9/15 新商品価格打合せ 新商品の価格について検討。 ・9/29 価格打合せ 新商品の価格についてほぼ決定。製作に向けたデザインの確認、検討。 <p>※Webについては、デザイン案をまとめ、11月上旬オープン予定。</p> <p>【その他】 グッドデザイン賞受賞。特別賞「日本商工会議所会頭賞」を受賞(10/2 現在) http://www.g-mark.org/library/2006/award-syoukou.html</p>
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月中にも2点の受注があったが、配送時に破損。梱包方法等について検討が必要。 ・商品が大型であり、送料負担が大きい。参加企業の協力を仰ぎ経費削減に努めたい。
12.	<p>岡谷商工会議所【岡谷絹<純絹(あしぎぬ)>製品のブランド化事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 昨年度作成した展示会用DVDソフトの一部修正(前半部分に挿入されていた岡谷市の工業、観光紹介を削除し、繭から繰糸して機織りまでの製造工程と製品紹介のみとする)が完了した。</p> <p><担当者のコメント> 12月6日(水)から8日(金)に東京ビッグサイトで開催される JAPAN CREATION 2007A/W の出展(小間番号 7区—20番)が決定し、ブース装飾の検討に入る。今回は、現在製作中の純絹諸紬による男性用上着や女性用ネックウェアを中心に、製品以外にも岡谷絹の生地もあわせて展示、PRをする予定である。</p>
13.	<p>飯田市鼎町商工会【「飯田水引ブランド」世界へのはばたき】</p> <p><今月の事業実施状況> ○9月1日～7日:パリ市場調査 2名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メゾン&オブジェ」の展示会視察と展示責任者とのミーティング。 ・「ジパング」(日仏文化交流拠点)での展示会開催。 ・マレ地区のショップの視察 ・現地専門家とのセミナー <p>○9月13日:第5回プロジェクト委員会 (パリ市場調査の報告・検討会) 「メゾン&オブジェ」への出展は、今回は断念することを決定。他の展開については次回までに検討。</p> <p>○9月28日:第6回プロジェクト委員会 今後の事業展開について協議。 今後の展開はビジネスの結びつく行動が必要である。したがって、現地デザイナーとのコラボレーションや、ジパングの組織を活用したインターネット販売などを柱とする事業展開プランを早急に詰めること。</p>

14. 福田町商工会【FUKUDE コード・ルネッサンス MISSION～コーデュロイ(ブランド名 solbreveco)の世界への発信】

＜今月の事業実施状況＞

1. 9/5(火)第4回リテール分科会・第3回プロモーション部会開催
2. 9/9(土)solbreveco プロモーション活動(ジュビロ磐田監督及びコーチに solbreveco ジャケット贈呈HP参照)
3. 9/13(火)付加価値化技術講習会(第2回)開催

＜担当者のコメント＞

1. 磐田市長が贈呈式に出席して下さいました。又、アパレル業者(solbreveco 会員)及びジュビロ関係者の大きな協力のもと実現しました。
2. 講習会講師を依頼した染色会社の協力を得て、これまでに開発した製品を改良するための付加価値加工を試みるようになりました。

15. 一宮商工会議所【JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業】

＜今月の事業実施状況＞

第3回JBパリ展示商談会(11社参加 出展総数113点)
9/18(月)～9/20(水) エスパス シャトレ ビクトリアにて開催いたしました。
108社 247人のバイヤーが来場、47社 715点のサンプルリクエスト、6社 30点の見本反請求がありました。
オフィシャルホームページを、9/15(金)開設いたしました。
アドレス・・・<http://www.joint-bishu.jp>



第3回 JAPAN ブランド パリ展示商談会(9/18～20 エスパス シャトレ ビクトリア)

＜担当者のコメント＞

第3回パリ展示商談会開催の結果、過去を上回るサンプルリクエストがあり、現地の有名アパレル企業の関心が高かったと、現地からの報告がありました。
また、ホームページも開設し、11月をめどに本格稼働、内容充実を目指していきます。

16. 有松商工会【創造と進化～有松鳴海絞りブランド～】

＜今月の事業実施状況＞

今月はおもに、試作品の製作を行っています。
会議等は特別行っておりません。

17. 高山商工会議所【「飛騨春慶のある生活提案」によるブランド育成事業(リビング編)】

<今月の事業実施状況>

○商品開発

・9/15(金)商品開発委員会において、飛騨春慶(マグカップ、コーヒーカップ、スプーン、フォーク他)、家具(リビングテーブル、ソファ、ローボード他)、陶磁器(カップ、ソーサー他)、繊維(衝立用帯地、クッション他)等の開発するアイテムが決定し、試作のスタートをきった。



○パリまでの海上運搬をまかせる運送会社を決定した。

カルネで出荷し、細かいことであるが高山から名古屋港までは安くて、日ごろ使い慣れている運送会社に決定した。

名古屋港からパリの会場までは専門運送会社に依頼し経費の軽減を図る。

<担当者のコメント>

・パリに向けて12月5日に高山出荷を目指して商品開発に取り組んでいるが、デザイン決定に時間がかかった。

しかしながら、開発完成の目安がたってきたし、当初予定よりすばらしい商品内容になることのイメージが画けるようになった。

18. 紀北町商工会【JAPANブランド ザ たべきり】

<今月の事業実施状況>

■市場調査・海外出展

海外(台北市)において“ラボラトリー手法”(実験的店舗)を用いて、『JAPANブランド ザ・たべきり』シリーズの主流商品となる「昭和の食卓」(ひもの)・「レンジ料亭」(加熱調理済ひもの等)などを中心とした、試食・サンプル配布・商品展示・インタビューなどによるマーケティングリサーチを行った。

●開催期間:平成18年9月1日(金)～14日(木)

●開催場所:台湾台北市 台湾シティ・スーパー

●名 称:「三重・紀北町 食フェア」



三重・紀北町 食フェア
(9/1～14 台湾シティ・スーパー(台北市))

■専門家招聘

上記の出展会場に専門家を招聘し、今後の販売戦略の策定や商品開発を目的に、JAPANブランド商品に対する消費者の生の反応をはじめ他店舗・現地市場等を目視調査するなど各種情報収集を行った。

●平成18年8月30日(金)～9月4日(金) 伊藤力行氏(マーケティング)

上記の出展にあたり食品輸出の法的・衛生的規則などのアドバイスから現地(台湾シティ・スーパー)との打合せ業務の窓口、食品輸出の実務作業スケジュール、フェア開催に向けての現地(台湾側)へのフォローなど多岐にわたりアドバイスをいただいた。

●白樫一彦氏(流通)

■広報

●実験店舗事業の推進PRとマーケティングリサーチ活動(アンケート調査など)が効果的且つスムーズに推進するための広告媒体等を製作した。

●日本語版ホームページのリニューアルや修正・画像の加工編集及び英語版ホームページの製作工程などについて製作担当者と打合せを行った。

<担当者のコメント>

実験的店舗を用いてのマーケティングにあたっては、専門家からマーケティングリサーチに関する国ごとの考え方・目的・方法などの提案をいただいた。

アンケート調査はインタビュー方式を中心に実施。職員が現地スタッフと一層の連携を図りながら、現地スタッフを通しての質問などを多くして、来店する富裕層消費者から様々な生の声を肌で感じ取る内容の濃いアンケート調査を実施することができた。このことにより台湾『食』マーケット参入への創造や商品改良・商品開発に繋がっていくと実感している。

出品商品について富裕層市場でのマーケットの可能性を見出せたことから有望商品が明らかになり、今後は商品提案と新たなるJAPANブランド製品開発で、台湾高級スーパーマーケットでの定番商品化に向けての市場土台が築けるという手応えを感じた。

事業採択は6月、実験店舗を用いてのマーケティングリサーチ事業は7月下旬からスタート。このリサーチを参考に数々のポイントを網羅して考察することで「売れる商品づくり」がスタートする。したがって試作品開発・改良トレースは、専門家の方々と10月から本格始動します。

19. 輪島商工会議所【「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—】

<今月の事業実施状況>

- 9月初旬 常設展示場の借上げが決定し、9月20日からのNY日本クラブ展示会と併せて、展示商品、レイアウト、内装備品について新発信分科会を中心に協議を進める。
- 中旬 展示商品の選考会を実施し、決定した商品について、新発信分科会を中心に梱包作業、写真撮りを行い、事務的作業として、輸出準備(カネの作成等)を行い、商品を発送。
- 20日 5:30(日本時間) 集合
8:00 小松空港発
11:00 成田発
- 20日 11:30(NY時間) JFK 空港着
14:00 日本クラブ着
14:00～ 展示会場準備
18:00～ 日本クラブレセプション
- 来賓 JETRO NY 事務所所長
日本総領事館関係
石川県 NY 事務所関係
日本クラブ 専務理事(日商 NY 事務所専務理事)
メトロポリタン学芸員他
- 出席者 80 名弱
- 21日～26日 日本クラブ展示会(会場来場者トータル 400 名弱)
- 22日～25日 常設展示場開設準備(棚、備品等一括準備)
- 26日 常設展示場仮オープン
- 27日 12:30(NY時間) JFK 空港発
- 28日 15:45(日本時間) 成田空港着
20:30 小松空港着
23:00 輪島着解散

<担当者のコメント>

9月はNYの展示会の開催、また、おそらく国内事業初である常設展示場の開設を実施することができた。

20. 能登町商工会【『能登の醸し』ブランド発信事業】

<今月の事業実施状況>

- 町内製造業者、宿泊業者、飲食業者を対象にパンフレット作成にかかる説明会を開催した。
- 当地において JA 流山市関係者を招いて商談会を実施した。

<担当者のコメント>

「いしり」のブランド化・販路の拡大を図るため、「いしり」を使った自慢の品・こだわりの品・サービス等を掲載したパンフレットを作成するにあたり、掲載希望者に対し説明会を開催した。

平成 17 年度事業により「いしり」料理をメニューに取り入れる飲食店が増え、本物の「いしり」料理を目当てに当地に訪れる観光客の利便性をアップさせたい。また、「いしり」を使用した商品やサービスの情報を提供し、満足度を高めリピート客の取り込みを図りたいと考える。

簡易ではあったが、千葉県流山市の JA 関係者を招いて商談会を実施した。「いしり」はもちろん能登の特産品を一同に集め展示し、商品のお披露目や情報交換を積極的に行った。残念ながら現在のところ商談がまとまったとの連絡は受けていない。

しかし、流山市は今後大規模開発が予想され、流山市を含めた関東圏の潜在的な需要は大きく、現在の急速な発展に伴い拡大しており、商品に対する安全性、信頼性に対する意識が高く、能登の特産品マーケットに合致した地域であるといえる。この現在進行形で拡大しているマーケットに対しては、「いしり」を中心に能登のPRを今後も継続して行くということが一番大事なことであると思われる。能登の特産品の特徴である高品質、安全性、信頼性のイメージをより全面的に押し出して、流山市を中心に関東圏に商品PR等情報の発信が今後重要な課題となると思われる。

21. 山中商工会【YAMANAKA ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

- 9月1日 メゾン&オブジェ 2006 出展
(9/1~9/5 パリ、ノールヴィルパント展示場 NUSSHA 商品)
- 9月30日 地方がつくるジャパンスタイル出展
(9/30~10/9 富山県高岡デザインセンター NUSSHA 商品)

<担当者のコメント>

メゾン&オブジェへのNUSSHA商品出展を行った。

昨年のJB事業にて既知となったアメリカウッドターナー協会会長より、次年度「第 21 回 アメリカウッドターナー アソシエーション シンポジウム」へ山中木地師の招待を受けている。世界に山中漆器を紹介出来る場所であり、積極的に交渉を行っている。

22. 鯖江商工会議所【めがねのメッカ福井県鯖江市「THE291(フクイ)」のブランド展開】

<今月の事業実施状況>

アンテナ特約店を訪問した調査を委員に報告。小売店の現状を確認した。
消費者調査の中間報告を受けて開発のコンセプト作りに着手した。
IOFT、シルモ展、香港展の出展計画を話し合い、参加者の役割を確認した。

<担当者のコメント>

アンテナ特約店の中には自主的に看板などを作ったり、1フロアを専用スペースにしたり、かなり力をいれて取り組む店があった。このようなことは、過去にはなかったことで THE 291 の期待度が上がったと思われる。

消費者調査の詳しい分析がまだ出ていないので、田中先生に早く結果を出してもらい、試作品作りに取り組みたい。

23. 京都商工会議所【KYOTO PREMIUM】

<今月の事業実施状況>

・9月3日～9日 事前準備および市場調査に係るフランス・パリ出張

「メゾン・エ・オブジェ 2006/9月展」※や市内インテリアショップ等を視察すると共に、メゾン・エ・オブジェ主催団体 SAFI へのプレゼンテーション、パリ商工会議所・パリ市等への協力依頼、現地施工業者面接等を実施した。

※昨年度開発した「大唄絞りクッション」が、「メゾン・エ・オブジェ 2006/9月展」トレンドコーナーに招待展示された。

・9月19日～20日 個別ミーティング

各参画事業者とプロジェクトスタッフが開発商品について打ち合わせた。

・9月20日 第2回ワーキング委員会

パリ出張について報告すると共に、出展計画、広報計画等について検討した。



<担当者のコメント>

・今年度は参画事業者が協働で開発する商品が少なく、事業者同士の横のつながりが少ない。

・広報(パブリシティ)の成果が芳しくなく、てこ入れが必要。

→11月8日 東京・代官山、11月14日 京都、にて記者発表を実施予定

24. 京都府商工会連合会【丹後テキスタイル】

<今月の事業実施状況>

9/13 「第5回ワーキング委員会」

開催ガイドラインと全体コンセプト「自然のカー Hand craft Luxury」を決定。なお、会場の選定については、渡航業務と併せて旅行業者に候補を提案してもらうこととした。そのため、9月の現地視察を取り止めることとなった。なお、コーディネーターは現地での手配・調整のため単独渡欧の予定。現地のコーディネーター予定者との交渉を行う。また、この委員会で新たな事業者1名の追加参加が承認された。これにより計8事業者が本事業に参加することとなる。

<担当者のコメント>

8月末より本格的に事業が動き出した観がある。それまでは助走期間として内容整備に追われていた。事業の推進方法が決まり、各事業者に対する今後の役割分担が予定されている。

25. 一宮町商工会【～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

●試作品開発

・香立(大)→香立(中)にサイズ変更 10月末完成目標

・「あわじ島の香司」のお香と香立(中)をセット化し香司の説明用チラシを作成する

・香りのペアストラップ(コーン2個入 16種類)デザイン検討→11月末完成目標

●HP作成(3カ国語) ・日本語版のHPを作成

<http://awaji-kohshi.com/>

●広報

・「あわじ島の香司」ブランドのお香を「のじぎく兵庫」国体出場選手に記念品として配布

・2本入香立付 7,500セット納品

●展示会 ・大阪ギフトショー出展(9/27～9/29)



大阪インターナショナルギフトショー(9/27～29)

	<p><担当者のコメント> 試作品の方向性が定まり、今後はパリでの事業展開を中心に協議する。 HP も日本語版が出来上がったので、次に英仏版の完成を目指す。</p>
26.	<p>御坊商工会議所【木の国「置き和室」国際ブランド化プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 9 月度は 8 月度から継続して、事業の中心課題である製品改良と海外展示PRについて推進する。製品改善・海外展示PRの進捗状況の方向付け・確認のため、推進委員会(本委員会)・専門家委員会それぞれ 1 回実施する。</p> <p>(1)製品改良について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●<きのくに御坊ひとま>の集いタイプ(5.5 畳)の製品改良ポイントに基づき、試作品製作を継続。 ●憩い半畳タイプは、九州大川で、試作化検討。具体的に試作品製作を継続。 <p>(2)海外展示PRについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジェットロパリ事務所展示の具体的展開内容検討と実施準備推進。予算配分と実施計画策定に取り掛かる。 ●ロスでの展示PRが日米交流文化会館ギャラリーに決定。具体的に現地・日本での実施内容の検討と実施交渉を推進。具体的実施準備に取り掛かる。 <p><担当者のコメント> 製品開発については、試作品製作が順調に進み始める。11 月上旬には、第 1 次試作品が完成の予定。試作品の完成に合わせて一気に海外展示PRを実施するため、展示プランやコミュニケーションツールなど、準備できることはできるだけ事前に対応していく必要がある。今後、その後のマーケティング展開への計画・準備を含め、事業は佳境に入ってきている。できる限り計画的にかつ手順よく事業実施内容を進めていくことが重要になる。特に、海外展示PRの場合、海外展示先と連携が重要となるため、キメ細かい準備と対応が課題となっている。</p>
27.	<p>松江商工会議所【NEW 松江菓子海外市場開拓プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> (1)9 月 4 日第 6 回実行委員会 商品開発事業の進捗状況について報告 11 月渡米事業用商品の確定。 (2)9 月 10 日～15 日 渡米打合せ(11 月事業について、海外調査について) (3)9 月 14 日第 7 回実行委員会 NY イベントの日程について、渡米班からの報告について、展示・試食・販売会の概要について、商品輸送リスト(管理表)の作成について (4)9 月 21 日第 8 回実行委員会 NY 渡米打合せ報告会、職人交流会 (5)9 月 29 日第 9 回実行委員会 渡米イベントスケジュールについて、事業内容、菓子バーの商品について</p> <p><担当者のコメント> 渡米イベントは例年 1 月に開催していたが、今年は 11 月に価格調査を兼ねて展示・試食・販売会をすることとなったため、急遽渡米しハードなスケジュールで事業を決定した。併せて、ジェットロや現地バイヤーなども回って今後の方針や傾向を協議した。</p>
28.	<p>府中商工会議所【FUTON-STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業)】</p> <p><今月の事業実施状況> ●府中家具メーカー海外展示会出展セミナー と き:9月29日(金)午後1時30分～4時 ところ:府中商工会議所</p>

講師:海外進出コーディネーター 田中 元英 氏

内容:○ラスベガス展示会での注意事項について

- ・ ブース内でのトラブル対策として保険は必ず入っておくこと。
- ・ 出展会場内の搬送やブース設営は指定業者に依頼するため、十分な打ち合わせが必要。
- ・ 会場設営は日本のイメージを分かりやすく表現する。そのために、日本から直接持ち込みをした方が良いものがあれば準備すること。
- ・ 輸出入は税関の関係で展示会場以外でも商品の出し入れをされることもあるため、梱包については傷が付かないように対応しておくこと。

○ラスベガス向けの商品規格について

- ・ 海外における府中家具ブランドを確立するためには、府中ブランドを考案するのが良い。また、製作した家具にはプレートを取り付け、ブランド名、製造ロット番号、メーカー名、製造年月日を入れる。これにより、商品価値が高まり販売先の管理も可能になる。
- ・ 出展商品は日本のイメージを判りやすく反映したものにする。

○展示会の商談戦略について

- ・ 商談については、セールスレップや販売店の募集パネルを展示小間に置くのが効果的。
- ・ 海外の客に合う販売方法や、PR 方法、輸送など、現地の情報を得ながら、業者との打合せを密にすることが成功の鍵となる。
- ・ 事前に販売業者等を探し、すぐに販路を作り、販売できる仕組みづくりをする。

<担当者のコメント>

・展示会では、通訳を3名付ける予定。ただ、商談となると、家具の詳しい知識をもった通訳人が必要となり、良い人材が見つかるか不安である。

29. 熊野町商工会 【「FU-DE」世界的ブームの創出。みんなで描こう！世界のスマイルフェース】

<今月の事業実施状況>

9月7日 第6回実施委員会 CHAとIBSのに展示会出展決定

新商品3パターンデザインを出席委員で検討

9月19日 第7回実施委員会 展示会レイアウト検討

エージェント活動用サンプル・パンフレット一括送付決定

9月29日 第8回実施委員会 展示会出展依頼内容決定

新商品の検討・デザイン決定

30. 高松商工会議所 【「6jo」(ロクジョウ)ブランド確立事業】

<今月の事業実施状況>

JAPANブランド育成支援事業

暮らしを楽しくする道具をコンセプトに開発した「6jo」ブランド商品の巡回展

「欲しかったモノできた展」を開催

◆巡回展示会「欲しかったモノできた展」

日時:平成 18 年 9 月 14 日から 18 日までの 5 日間

場所:(株)モリシゲ 東京営業所 ショールーム

来場者:76 人

9 名のクリエイターが開発した代表作品 30 点を展示。

百貨店関係者、専門店関係者、建築設計関係者並びに一般消費者等のご来場があり、高い関心と評価を得て商談を行った。

◆巡回展示会「欲しかったモノできた展」

日時:平成18年9月21日から25日までの5日間

場所:(株)モリシゲ 大阪営業所 ショールーム

来場者:84人

9名のクリエイターが開発した代表作品30点を展示。

百貨店関係者、専門店関係者、建築設計関係者並びに一般消費者等のご来場があり、高い関心と評価を得て商談を行った。

31. 東かがわ市商工会【市場性を重視した試作品から商品への展開を図り、ブランドの確立と、メーカーと市場を繋ぐシステムの構築】

<今月の事業実施状況>

■第1回認証制度委員会(9/7)

「GLOBE DESIGN」ブランド認証要綱(案)について協議を行う。今後、この案を各自委員が持ち帰り検討していただき、何回か委員会を開催し本年度中に確立することになる。また、現在、商品が流通しているので、新製品の認証依頼があれば随時この会において諮っていくことになる。

<担当者のコメント>

今回の新商品制作計画により、本年度の目的である市場性を重視した商品開発とブランドの確立、そして新たな市場を繋ぐシステムの構築、今後のデザイナーとの協力体制が確立されると思う。

32. 福岡商工会議所【21世紀博多織 JAPAN ブランド】

<今月の事業実施状況>

9月初旬の東京コレクションに生産者および専門家を派遣、福岡から出品したデザイナーのほか、東京の著名デザイナーにアプローチ。コラボレーションで商品開発を進める。他に、百貨店やバッグ・ドレスなどのパーツ製造会社を視察訪問。

9月21日幹事会開催。

- ・ヨーロッパ市場開拓調査事業について方針決定。事前に現地バイヤー(メゾンブランド、デザイナー、セレクトショップなど)に生地サンプルと博多織の資料を提示し、関心を示した相手のアポを取った上で生産者と訪問。
- ・上記サンプルと資料の制作は10月初旬にも完成させ、発送する。
- ・1月に最終成果発表会を行う。商品展示及びファッションショー。博多織を使った東京のデザイナーの作品に加え、地元デザイナーの公募・コンペを行う。

9月13日～19日百貨店において「HAKATA JAPAN」ブランドの製品展示会を実施。

HPリニューアルのため、コンテンツの監修とサイトデザインをほぼ終える。10月23日公開予定。

<担当者のコメント>

地元デザイナーの発掘は非常に有意義であるが、デザイナーズクラブなどは秋冬のコレクション発表の準備に入っており、着手がもう少し早ければと悔やまれる。

引き続きジャパンブランド事業を地元デザイナー界に周知させていき、今後の活用を図れる体制を作りたい。

33 大川商工会議所【大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業】

＜今月の事業実施状況＞

9月1日～5日にパリ:メゾン・エ・オブジェを視察(2名)

メゾン・エ・オブジェ 視察状況について

この展示会では私達が特に気をつけなければならない要素がいくつかあります。

- (1)この展示会の中では具体的に商談が出来なければさっと人は立ち去ってしまう。つまり、この展示会で1年間分の商談を済ませる人も多く、単なるデザインの提案だけでなく具体的な商いの場となっている。
- (2)従って、価格、納期、取引条件などはしっかりと整備されていなければ来訪者があきれて去ってしまうということになりかねない。
- (3)継続した商いを求める場合、その拠点となるスペース、ショールームがあるかどうかを聞かれるケースが多い。相手が小さい小売店の場合はそうでもないかもしれないが、卸売りの行動をとろうとするディストリビューターはこの傾向が強い。
- (4)具体的な商いをする割には、会場全体が装飾的で地味な提案をする場合にはブース自体でひきつける要素が必要となる。
- (5)会場はミラノサローネなどと比較すると小さい。日本の場合よりはるかに大きい。そのため大手のバイヤーなどが目的外のブースにもよく顔を出すようで、出展者としては露出が多く空振りが少ないと言うことで非常に人気がある。
- (6)イタリアのミラノなどとはまた違った形でヨーロッパのインテリア業界に対する情報発信の場として中心的役割を果たしている。私見で言えば、ミラノはデザインの傾向や提案を売る場として、パリは具体的な製品を提案する場として活躍しているように見受けられた。だからこそパリの場合余計に装飾的にならざるをえないのかもしれない。

9月21日(木)に事業所会議開催

- ・パリ展示会について、視察報告を受ける。
- ・展示会に向けた前準備と展示面積の確認。
- ・PR広報について、パンフレットの作成とそのための写真撮影確認。
- ・開発商品の要望を取りまとめ、デザイナーに伝える。

＜担当者のコメント＞

参加事業所が主体的に取り組み、積極的な事業活動がなされている。

34. 広川町商工会【古くて新しい！新風久留米絣ブランド化事業】

＜今月の事業実施状況＞

9月2日～3日 広川町かすり祭の中でJブランド開発商品の展示を行った。新柄のテキスタイルは間に合わなかったため、既存の生地でアロハシャツ等を4種類、横浜ROUROUとの提携により制作した若い女性向けのブラウス等4点を展示した。従来品とは、明らかに違う新鮮な印象を与え、来場者は、非常に熱心に見ていた。販売して欲しいという声も数多くあった。若手後継者部会は、9/5、9/11、9/26に開催し、新柄のデザインを絣柄に変更修正する作業を行った。

9月20日実行委員会を開催した。東京のデザイナーでニニータというブランドの西脇さんとの提携で商品開発をすすめることを決定した。また、卸商組合全社にJAPANブランド事業参画を呼びかけることになった。2社が参画する見込である。最後に再度確認の意味でブランド化の意義について説明し事業者理解を深めてもらった。

＜担当者のコメント＞

テキスタイルの制作が非常にタイトになっているが、今年度は、大きな成果を出すという意識が若手部会を中心に広がっている。また、卸商組合など、町外の関連業種に参画を求めることになったが、町内業者に限らず、業界全体で、積極的にブランド化をすすめることは、久留米絣産業の再生、産業構造変革を早めることになりそうだ。

35. 苓北町商工会【CERAMICA AMAKUSA 天草陶石・陶磁器ブランドプロデュース事業】

<今月の事業実施状況>

○8月29日PJ委員会(執行部会議)開催

- (1)ホームページの改良について協議。
一般消費者向けページづくりとし、JB事業はバックグラウンド化する。地域情報も掲載し、親しみやすさを付加する。ネット販売は当面予約販売とし、商工会が管理する。代金決裁は代引きとする。

(2)今後の展示会について協議。

i 「JAPAN EXPO 2006」(11月18・19日
ロサンゼルス)

展示物輸送の方法日程、会場レイアウト、販促ツール、参加者の選定、旅行日程、現地交流会などについて協議する。英訳パネル、英訳ちらしの作成を決定。「和」(日本)らしさを強調した演出をする。交流会は現地邦人事業者や産業界、姉妹都市から人選する。

ii 「くまもと物産展」(11月3～5日 グランメッセ熊本)

展示物輸送の方法、会場レイアウト、会場担当者の割り振りなどについて協議。

鶴田一郎原画小陶板や照明のテスト販売も行う。

iii 「アクロス文化交流事業展」(平成19年1月13から18日 アクロス福岡)

開催要領について確認。ロス展の展示物返送が間に合うか心配。

(3)ホームページの改良について協議

ネット販売機能を追加したり、開発試作品(商品)の紹介ページを追加してデザイン改良。10月初旬アップ予定。

(4)商品開発について協議

鶴田一郎原画陶板についてアイテム追加を承認。9月5日先方へ出向き、原画の選定や著作権契約などについて協議することを決定。ライフウェア商品として洋風コーヒークップやマグカップの開発を行うことを承認。

(5)ジェトロの海外市場調査について報告

パリの市場調査については12月中に結果報告の予定。

○9月12日PJ委員会(全体会議)開催

各委員や参画事業者(窯元)に対して、8月29日委員会の決議内容を周知し理解を求めると共に、意識の統一化を図った。JAPAN EXPO展については、天草市(エンシニタス市と姉妹都市)やジェトロなどの協力支援を要請する。洋風コーヒークップについて、絵付けグループとのコラボを検討する。

○9月25日PJ委員会(展示会委員会)開催

JAPAN EXPO展について、目的、ターゲット、展示品、持参品、交流会、日程などの詳細を協議確認。

<担当者のコメント>

商工会事業や地域イベントなどで専従時間の不足。今後の業務の計画性・タイムスケジュールが極めて重要。



36. 大分県商工会連合会【Harb&Harvest Oita プロジェクト】

＜今月の事業実施状況＞

- 9月21日 ワーキング会議で今後の事業計画、サンプル発送状況、試食会等について協議を行った。
- 9月29日 新規参画事業者を募集し、2社の事業所を訪問し、事業の説明、状況把握、新製品開発に関しての指導を行った

37. 鹿児島県商工会連合会【薩摩が誇る美と技のコラボレーション】

＜今月の事業実施状況＞

- 8月31日～9月7日まで、フランス・パリの市場調査を実施。
参加者は、実行委員長の上水流氏、参加事業者の越間氏、事務局の勝田が参加。
 - 9月2日 Maison & Objet 視察
 - 9月3日 フランスでの展示会を開催
 - 9月4日 セミナー受講・マレ地区商店街視察
 - 9月5日 広報・宣伝会社との打合せ・展示会場視察

- 9月19日 参加事業者打合せ会議
この事業に参加している事業者に、今回のパリ市場調査について報告した。
 - 1) フランス市場調査について報告。フランスコーディネーターについては日本窓口としてIB Projects の和田さんをお願いすることとし、会場については再度検討。
 - 2) ブランドコンセプトについては、「黒から生まれる色彩とぬくもりのものづくり」としサブテーマで「プロダクト フォー ワン」とし次回のワーキング会議で最終決定。
 - 3) 試作品については、11月末完成を目指す。デザインについては「今までの伝統的なものに、現代的なデザインを取り入れた商品」をつくる。
 - 4) スケジュールについて、海外展示会は平成19年1月中旬にパリ、下旬にウィーンで開催。国内展示会においては平成18年12月東京で開催する予定であったが、試作品の完成が11月末になるため12月の開催は時間的に無理がある為、海外展示会終了後、2月に開催することとしワーキング会議で最終決定。

＜担当者のコメント＞

- ・今回、フランス・パリの海外市場調査において、大島紬・薩摩切子とも高い評価を得たのでフランスでの市場性は十分あるものと思われる。
- ・展示会においてプライスカードを見ると値段が高いため、一般消費者にとっては高価な商品だと思われるがちである。直接手に取ってもらい商品の説明をし、やっと商品のよさを理解してもらった経緯があるので、もう少し展示の工夫が必要。(どうして高価になるのか、分かるように展示をしなくてはならない。)

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(1年目)案件:2006年9月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p>札幌商工会議所【スイーツの街・札幌 ブランド発信事業】</p> <p><今月の事業実施状況> フードランド北海道2006の大通会場において、地元市民、北海道外・海外観光客を対象にした「北のブランド・クラーク博士の贈り物」のブース展示を行った。別団体のブースによる札幌スイーツの販売と合わせて、相応のPR効果があったものと思われる。 期間来場者213,000人。 また並行して、同会場にて、札幌スイーツをPRするパンフレットを30,000枚配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">フードランド北海道 2006 大通会場 「北のブランド・クラーク博士の贈り物展示コーナー」</p> <p><担当者のコメント> 観光客が多数集まる大規模イベントでの展示で、ブース閲覧も多く、イメージアップに寄与したものと考えられるが、具体的数量的な効果検証が難しい。効果を測定するなんらかの仕掛けが必要と思われる。</p>
2.	<p>盛岡商工会議所【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 9月5日に第1回委員会を開催し、正副委員長の互選、事業内の説明を行なった。出席した委員からは、海外への販路確保には適切なセールスレップ(現地で販売を世話してくれる人)の確保が不可欠、などのアドバイスをいただいた。 フィンランドのデザイナーとフィンランドでの海外調査の日程調整を行い、10月9日から10月15日の日程で海外調査を行なうこととした。 フィンランドのデザイナーと専門家を盛岡市へ招聘する日程の検討を行い、10月末から11月初旬にかけて招聘することで調整中である。</p> <p>今後、フィンランドでの海外調査、フィンランドのデザイナー等招聘を経て、フィンランドデザイン導入による南部鉄器の新製品の試作に取り組んでいく予定である。</p>
3.	<p>菟田野町商工会【UTANO ブランドの創出～毛皮・鹿革を活用した地域ブランド構築プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 化粧・エステサロン部会・・・ ・8月に当部会で鹿革の持つ素材特性を活かした化粧用品(フェースマスク、パフ、化粧マスク、パック、眼の下用パックシート、スリムベルト、爪磨き用など)の試作品開発とエステサロンでの実用化試験の実施を検討した事に伴ない、今月エステサロンでプロのエステシャンに機能性評価を施して戴いた。その結果報告を受け、十分に鹿革の使用が可能である回答を得た。</p> <p>飾雑貨部会 ・(株)イビサの全面協力の下に婦人用高級バッグの製作というコンセプトで取り組んでいる。しかし、鹿皮の素材感を生かすと素材特性が弱点になることが試作段階で判明してきた。皮にコーティング加工を施すとその弱点はクリアするが、素材感の良さが伝わらないジレンマが生じる。しかし、素材感を残したままの改良には時間がかかるため、本事業年度でどこまで対応できるかが課題としてあげられる。</p>

<担当者のコメント>

素材となる鹿革の優れた特性を生かして商品アイデアは数々出てきたが、化粧・エステ部会内で商品開発とブランド育成の捉え方について温度差が生じた場面があり、そのコンセンサス形成に時間を費やした。

今後は実用化を目指して販売ツール、販売価格帯、供給ラインなど、詳細面で検討が必要とされる。

4. 泉佐野商工会議所【泉州こだわりタオルブランドの構築】

<今月の事業実施状況>

泉州こだわりタオル開発

9月9日(土)「泉州こだわりタオル」の試作者により、試作状況について意見交換を行った。現時点では、各社とも尾原専門家委員(株)大阪繊維リソースセンターチーフデザイナー)と個別で企画協議を随時実施し、素材の手配から織り組織、カラー展開など調整の基で順次推進しているとの報告であった。

当月は、これら各試作者により試作開発を推進した。

9月末現在、パンフレット用として製織はほぼ終了し、染色、プリント、刺繍などの加工を実施している。

10月上旬に、パンフレットの写真撮影のための、試作商品を仕上げる予定である。

9月21日(木) 尾原専門家委員よりパンフレットの構成などについて事務協議を行った。

- ・泉州タオルの特徴をアピール
- ・ブランドイメージの提案
- ・テーマ～WABI・侘～イメージの洗練されたデザイン

PR委員会

9月12日(火)PR委員会を開催し、広報PR用の、「泉州タオル」ロゴ、ポスター、タオル用ラベルなどの作成について協議を実施、11月18日・19日の展示会に合わせ業界団体である大阪タオル工業組合員より一斉にPR出来る様作業を進めることとした。ポスターについては、地元行政をはじめ、金融機関他、地場企業への配布掲載によりPR出来る様調整することとした。



PR委員会(9/12)

<担当者のコメント>

「泉州こだわりタオル」の開発は、企画からタオル業界(サイジング、染色企業、機屋)の現場での試作作業が進められている。同作業は、大変なようであるが、「泉州こだわりタオル」ブランド確立のためより頑張っていたきたい。

また、広報PRも大変重要であり、今期は、地域一体となった広報を計画しており、多くの企業との連携で実施できるようにしたい。

9月22日に、播州織物産地より地域ブランドの取組関係者が、泉州タオル産地に来られ、地域ブランドの取り組みについて視察、懇談会を実施した。

5. 神戸商工会議所【神戸ブランド Meets 上海】

<今月の事業実施状況>

(打ち合わせ会)

日時:9月15日(金)11:30～13:00

場所:神戸市役所

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、神戸商工会議所:関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子) 計5名

内容

- (1)神戸ブランドのブース出展候補地の適地性や中国のファッション事情、進出の際における課題、神戸ブランドのメディア戦略に関する現地調査報告内容をもとに、今後の進め方を検討。
- (2)ショーイベントの舞台となる「神戸コレクション in 上海」の開催時期は12月か2月で調整中の様子。これに合わせて市場調査事業、出展者募集、イベントに関する諸準備を進めることにする。

(打ち合わせ会)

日時:9月29日(金)9:00~11:00

場所:神戸デイズ(高田氏の事務所)

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、神戸商工会議所:小寺 隆、関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子) 計6名

内容

- (1)日本のアパレル業界の事情や、中国の旧正月の時期などを考慮した結果、神戸コレクションの開催が2月に決定された。会場は上海の正大広場に決定。集客目標人数は約2000名を予定。これに合わせてJAPANブランド事業の計画を策定する。
- (2)神戸ブランドへの出展者募集概要や、市場調査業務の委託内容、百貨店でのイベント開催などを検討した。
- (3)上海の有力メディアとの連携について検討。テレビ(SMGチャンネルヤング)、雑誌(with)、web(pclady)が候補として挙がっている。

<担当者のコメント>

- ・「神戸ブランド Meets 上海」における募集要領の概要が決まったので、実行委員会の開催後、当事業の参加者募集を始めたい。委員会は10月中旬~11月上旬までに開催予定。
- ・参加事業者の費用負担が出来るだけ軽くなるような予算編成を心がけ、多くの中小企業に関心を持って頂けるようにしたい。

6. 今治商工会議所【Imabari タオルプロデュース ~「新 Towel ライフ」の演出~】

<今月の事業実施状況>

開催日:平成18年9月1日 11:00 場所:今治商工会議所 1階 応接室

出席者:インタプランニング(有) 富山達章、今治市商工労政課、四国タオル工業組合、今治商工会議所

議事・要件:佐藤可土和氏と今後のスケジュールについて打合せ

開催日:平成18年9月12日 10:30

場所:来島海峡、今治商工会議所、四国タオル組合、(株)藤高、村上タオル(株)、コンテックスガーデン

出席者:インタプランニング(有) 富山達章、(株)サムライ 佐藤可土和 佐藤悦子、今治商工会議所、今治市商工労政課、四国タオル組合

議事・要件:10:30 佐藤可土和氏 来島海峡見学

13:30 佐藤可土和氏とタオル製造業者との意見交換会
佐藤可土和氏ロゴ制作のための事前調査

開催日:平成18年9月21日 11:00 場所:スパイラル 東京都港区南青山
 出席者:インタプランニング(有) 富山達章、アッシュコンセプト 名児耶秀美、鵜飼麻方、
 尾崎亜由美、(株)ワコールアートセンター 松田朋春、ひびのこづえ
 今治市商工労政課、四国タオル工業組合、今治商工会議所
 議事・要件:今後の事業推進におけるコンセンサスの確認

開催日:平成18年9月28日 14:00 場所:四国タオル工業組合
 出席者:インタプランニング(有) 富山達章、四国タオル工業組合、今治市商工労政課、今治商工会議
 所
 議事・要件:今後の計画について(2年、3年目事業)

開催日:平成18年9月29日 13:30 場所:今治商工会議所 2階 特別会議室
 出席者:インタプランニング(有) 富山達章、四国経済産業局、愛媛県今治地方局、繊維産業試験場、
 今治市商工労政課、今治商工会議所、四国タオル工業組合、振興センター
 議事・要件:第1回プロジェクト実施委員会
 委員に事業概要と進捗状況を説明。

7. 中芸地区商工会【「魚梁瀬(やなせ)杉」再生プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

9月12日 Monacca ワーキング

1. GD2006出展時のアンケート結果について協議。
2. 結果を踏まえて今後の方向について協議。
3. 10月31日～11月5日 100%デザイン(東京デザイナーズウィーク主催)への出展計画検討。
4. パリのメゾン・エ・オブジェ 出展報告。(デザイナーによる出展)

同日 委員会

1. ワーキングでの協議内容の報告。
2. 新商品開発への協議。

<担当者のコメント>

Gデザインのアンケートでは、Monacca の座布団に注目が集まったが、次いでバッグが注目された。

次回の100%デザインへの出展は、小売店も多く来場される模様であるので、実際に販路開拓も期待できる。

又、委員会で協議した新商品開発においては、第2・第3の Monacca を目指した開発について、具体的な検討に入りたい。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2006年9月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p>能代商工会議所 (木材製品)</p> <p><今月の事業実施状況> 今月(9月)の事業実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 9月6日(水)第2回「能代商工会議所・秋田杉ブランド推進委員会、小委員会(木造住宅推進研究会)」をプラザ都にて開催。委員10名出席、専門委員1名含む。 9月19日(火)午後3時30分～、第1回「当所・秋田杉ブランド推進委員会、ワーキンググループ打合せ」をプラザ都にて開催。委員7名出席、専門委員3名含む。 9月30日(土)10時～、第2回全体会(合同委員会)「当所秋田杉ブランド推進委員会、小委員会(木造住宅推進研究会)、ワーキンググループ合同」を商工会館1階にて開催。委員21名が出席、各事業の進捗状況を報告。秋田杉と多層階木造住宅についての勉強会「ゲスト:東京大学生産技術研究所・助教授・腰原幹雄氏、テーマ:多層階木造住宅の現状」を実施、最後に質疑応答。 <p>来月以降(10・11月)の事業実施予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 10月6日(金)調査事業の第一弾として「秋田杉のイメージ調査アンケート」を実施、委員5名体制にて、聞き取り調査「秋田スギについての調査」。 10月13日(金)と25日(水)午後1時30分～第2・3回打合会を開催。「秋田杉ブランド推進委員会・ワーキンググループ打合せ」プラザ都にて開催予定。 2月までの事業計画・詳細内容について協議並びに、成果・事業報告書のまとめ及び資料の整理・協議に入る予定。 11月15(水)～17日(金)東京の展示会「日本最大の住宅・建築(建材)関連見本市 in 東京ビックサイト」視察研修会を企画。(別紙案内参照) 11月22日(水)。第3回委員会の開催、ゲストを招へいし、講話・勉強会を開催予定。 ゲストスピーカーに、(財)秋田県木材加工推進機構・非常勤コーディネータ(山佐木材(株)東京営業所長)を招き、講話・スピーチをもらって、秋田スギのブランド化事業について意見交換しながら、各事業の進捗状況を報告する。(第3回全体会・合同会議)
	
	<p>秋田杉と多層階木造住宅についての勉強会 (9/30 商工会館)</p>
	<p><担当者のコメント> 直面した課題とその対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化の確立には何かしら形に残るものを想定する必要がある。 ・秋田杉のイメージ等の調査を実施し、調査による報告書の作成が必要。 ・木の香り漂う木造住宅と、その構造等の普及が必要。

2. 宮城県商工会連合会（木地玩具、漆器の融合）

<今月の事業実施状況>

9月9日(土)

第1回ワークショップを開催し、出席した委員の中で、地場産業や市場動向についての現状把握を行い、併せて今後の戦略策定の方向性について議論を行った



<担当者のコメント>

戦略策定作業と同時に、事業に携わっていない他の工人の皆さんとの共通認識を持つことが今後重要であろう。

(複数年での継続事業としてこの事業を捉えるならば、2年目以降は自己負担が伴うことも併せて理解していただかないといけない。)

3. 梁川町商工会（ニット製品）

<今月の事業実施状況>

モスクワ現地調査の実施

実施日 平成18年9月17日～23日

参加者 佐藤会長、横山推進委員長、三品専門委員、中尾プロジェクト委員、事務局 仲山

調査内容 ・第27回全ロシア繊維・軽工業見本市視察 ロシア繊維・軽工業企業連盟 Sakovich 副代表との懇談

・丸紅(株)牛丸支店長とのロシア状況調査 デザイナー訪問 Sergey氏・Olgs氏・Norsoyan氏

・ニットメーカーGregoory社訪問 小売量販店「SELE」本社訪問 Nikifova 副社長との懇談

・ロシア NIS モスクワ事務所・池田正弘所長訪問 JETRO モスクワ事務所・大橋巖所長訪問

伊達市商工会広域連携協議会 ニット業者(会員限定)に対するアンケート調査実施

<担当者のコメント>

モスクワ現地調査にあたり、プロジェクト委員の中尾氏が調査内容をコーディネート。中尾氏は現地法人を持ち、モスクワ商工会(会員にトヨタ・ソニー等140会員)の会員で世話人あり、ロシアのあらゆる面に精通していた。調査内容も多岐にわたり、公的機関依存の調査よりは、モスクワの実体経済が詳細に分かる調査であった。デザイナーのNorsoyan氏は、Jブランド参加に強い意欲を示した。又、SELEの副社長は、中尾氏より事前にプロジェクト内容を把握しており、事業で開発された商品を、販売することも検討していることを示されたのは、予想を超えた成果であり、次年度に続く事業と大いに期待が持てた。JETRO・ロシアNISモスクワ事務所も事業実施に当たり、全面協力を約束してくれたことは、心強い限りだ。現地調査報告会を11月に予定している。

併せて、アンケート調査の分析結果の報告も予定している。

4. 足利商工会議所（雲井織）

<今月の事業実施状況>

9月8日(金)、足利銘織創造研究会(足利ブランド準備委員会)を開催し、今回は前回の要望された一般消費者の方から意見交換をすることから5名の方を紹介した後、議事に入った。

リーディングプロジェクトの作成について

リーディングプロジェクト案(消費者のメリットにつながるもの)について、メンバーから提案のあったものを事務局から説明した。その結果、アドバイザーの(株)ブランド総合研究所田中氏からどの案も絞込みが足りない指摘された。

参考として全市の魅力度ランキング調査の結果が、全国700市のうち栃木県は日光が31位(県内1位)で、足利市は255位(県内4位)。いかに足利市の魅力度を上げることが最大のポイントと説明。そのためには情報発信が大切。

1. オーダーメイドの街をテーマに取り上げての意見交換を行った。(以下は意見交換内容)

(1)Yシャツはオーダーメイドが多い

(2)ブランドを作っていくうえで、対象者の絞りこみがポイントです

(3)インテリアのオーダー

(4)規格ものは体に合わず、また大きなサイズにはあまり気に入った商品がないのでオーダーの仕組みを変えられれば足利は安くオーダーできる町という印象を与えることができればよいのではないかと。

(5)トータルファッションを目指す。(例:スーツ、ベルト、バッグ、名刺入れ等の4点セット等。この中で足利であることがわかる何かがあると最もよい)

2. 巻織汁(けんちんじる)をテーマ取り上げての意見交換を行った。(以下は意見交換内容)

(1)「かかあ天下」シリーズ(お土産品の開発) 機織につながる

この土産品に足利からのメッセージを入れる等)

(2)お祝いごとには足利市では、けんちんじるをつくる習慣(十五夜、節分、えびすこ)があるため、これをうまく利用してみてもどうか。

(3)足利市はにんじんの生産量が多い。

今後の予定として、栃木県主催の伝統工芸展等の行事が開催されることからその時にもし見本品でもあれば展示してもらえると県に確認したところ、県の五家氏が了承してくれたため、国内市場調査目的のために、「雲井織」で見本品を製作することとなった。

<担当者のコメント>

今後のプロジェクトの方向性が絞り込めず、いかに消費者ニーズのつかむことが大切であると実感した。

5. 鹿沼商工会議所 (建具)

6. 糸魚川商工会議所 (ヒスイ)

<今月の事業実施状況>

9/1 ~ 2 国内市場調査

東京ジャパンジュエリーフェア見学

品川ヒスイ原石館見学 館長との意見交換

御徒町 銀座ヒスイ取り扱い業者の訪問と市場調査見学

9/12 第3回ヒスイブランド推進委員会

市場調査業者の調査の中間報告 地元情報収集についての所見報告

東京ジャパンジュエリーフェアと取り扱い業者訪問についての結果意見交換

専門家の土屋嘉男中小企業診断士より9/20~24 香港ジュエリーフェア取り組みと中国市場調査の内容説明

国外市場調査で香港ジュエリーフェア見学参加者の確定と日程確認

9/12 地元ヒスイ関連業者懇談会

地元ヒスイ関連業者と JAPAN ブランド「糸魚川ヒスイ」事業についての意見交換会実施

JAPAN ブランド事業の糸魚川での今年の取り組みについて説明

JAPAN ブランド事業への協力要請に対し、業者は資源の枯渇など課題はあるが大筋で了解



品川ヒスイ原石館見学(9/1)

9/20～24 国外市場調査

香港ジュエリーフェア、中国市場調査実施

ジュエリーフェア見学 フェア出店者との懇談会

ヒスイ市場見学 ヒスイ販売店の訪問調査

見学のあとヒスイ取り扱い業者訪問しヒスイの原石調達の状況や、中国国内のヒスイ宝飾品の購買状況など聞き取りを行った

<担当者のコメント>

ジュエリーフェアにおいて国内ではヒスイは展示品の一部、または表には展示されていない事がある。

中国のフェアでは特別展示エリアがあり、大概のブースでもヒスイが1コーナーを占めていた。中国での需要の大きさを感じさせる。しかし、ほぼ百パーセントミャンマーの原石による製品。国内外の業者は糸魚川ヒスイの価値を認識しているが無名のために市場では人気なし。

7. 甲府商工会議所（宝飾品）

<今月の事業実施状況>

委員会

1. 戦略審議セッション会議

第2回 日時:平成18年9月6日(水)10:00

場所:甲府商工会議所 401会議室

出席者:26名

内容:戦略策定セッション報告 1)基本的な共通認識の確認について

* (1)ブランド化に向けた産業全体の共通認識、(2)山梨県ジュエリー産業の強みと弱み及び課題、(3)戦略策定の基本フレームとプラン、について説明し、審議セッション委員の意見を伺ったことで各社及び産地山梨のジュエリー産業の目指すべき方向性について共通認識を持たた。

2. 戦略策定セッション会議

第5回 日時:平成18年9月1日(金)正午

場所:東京ビックサイト会議室

出席者:6名

内容:1)戦略審議セッション会議提出資料について

* 9月6日開催の審議セッション会議提出資料の検討と分担を決めた。

第6回 日時:平成18年9月8日(金)10:00

場所:甲府商工会議所 501会議室

出席者:6名

内容:1)戦略審議セッション会議に対する対応について

* 審議セッション会議で出た意見を整理した。

3. セミナーの開催

第1回 日時:平成18年9月8日(金)13:30

場所:山梨県自治会館大会議室

出席者:66名

テーマ:~ジュエリーメーカー産地山梨の確立~

他地域の成功事例に学ぶ「大川インテリア産業の挑戦」

講師:九州大学教授森田昌嗣氏

* 他地域の成功事例として大川の取組及び地域ブランドの考え方を学んだ。

4. 海外展示会の視察

日時:平成18年9月18日(月)~21日(木) 3泊4日

場所:香港国際宝飾展

参加者:5名

* 海外展示会出展候補である香港国際宝飾展を、策定セクション委員5名で視察した。各委員は、各々の立場で、商品のトレンド、香港市場の様子、展示会参加企業調査、展示会出展のための展示会データの取得、主催者との懇談等を行い、出展のための検討と資料収集をした。

<担当者のコメント>

ブランドのとらえ方が様々で整理する必要がある

8. 静岡商工会議所 (家具)

<今月の事業実施状況>

9月25日(月)第2回「静岡家具ブランド戦略策定委員会」開催

(1) 開発の方向性について

- ・静岡県家具工業組合のビジョン委員会が出された意見についての報告を行なった。(今回の事業を限られた時間でより効果的に遂行するために、静岡県家具工業組合のビジョン委員会が出された意見を参考にし、連携を取りながら、本委員会を進めている。)
- ・第1回委員会およびビジョン委員会が出された意見をもとに、甲賀コーディネーターから、6月に採択を受けた事業コンセプト(「光のインテリア・プロジェクト」)のモデル事業の提案を行ない、それについての意見交換を行なった。
- ・光の技術とこれまでに静岡で集積された木工技術を組み合わせ、従来の家具にとらわれない自由な発想の光の照明器具や異業種や異分野との組み合わせで静岡ならではの新しい光の生活器具をつくっていくべきではないか等の考えで方向づけられた。

(2) 市場調査の方向性について

- ・今後、どこをターゲットに市場開拓したいかという視点から考えると、今後ますます消費の拡大が予想される中国を市場として捉えたらどうかという提案が甲賀コーディネーターからなされた。
- ・現在、すでに上海見本市に出展している家具メーカーの戦略は、中国に売り出したいのではなく、日本の国際見本市には来ないヨーロッパのバイヤーをターゲットにしている。中国を今すぐ市場として捉えるのは時期早尚ではないかとの意見も出されたが、日進月歩発展している中国という大きな市場はやはり魅力的で、本事業の市場開拓のターゲットとして考えたいという意見でまとまった。

第3回「静岡家具ブランド戦略策定委員会」を11月20日(月)に開催予定。

	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10～11月にかけて予定していた市場調査の実施時期が若干遅れている。市場調査実施後、調査結果の分析を行い、ブランド戦略アクションプランを策定する。限られた事業期間のなか、さまざまな意見をどのように集約し、同じベクトルに方向づけていくか、委員長と専門家の方の強力なリーダーシップはもとより、きめ細やかなスケジュール管理が必要になると思います。
<p>9. 豊橋商工会議所（佃煮）</p>	<p><今月の事業実施状況></p> <p>H18年8月下旬～9月上旬</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」構成委員各社に対してアンケートを実施 ・会社の歴史、商品の歴史、会社の特徴、取扱商品カテゴリー、 ・主力商品、主な販路 <p>H18年9月中旬</p> <ul style="list-style-type: none"> 分科会においてアンケートの集計、分析 <p>H18年9月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三河佃煮ブランディング戦略策定委員会」第2回全体会議開催 ・アンケート集計結果の報告 ・10月開催の「豊橋まつり」における消費者アンケート実施の提案(承認) ・ブランド構築の方向性を引き続き検討 <p><担当者のコメント></p> <p>アンケートの結果も含め、委員会各社(14社)の商品ジャンル、販路、製法等々、非常に様々であり、ブランド構築の方向性をどのように絞り込んでいくかが課題である。</p>
<p>10. 瀬戸商工会議所（窯業）</p>	<p><今月の事業実施状況></p> <p>9月13日に、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏と清水一徳氏を専門家として招へいして、第4回作業部会を開催し、3つのリーディングプロジェクト(お茶プロジェクト、オートクチュールプロジェクト、瀬戸基準プロジェクト)の方向性と目的・目標についてコンセンサスの形成を実施した。</p> <p>9月27日に、第2回瀬戸地域ブランド委員会を開催し、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏と清水一徳氏を専門家として招へいして、3つのリーディングプロジェクトのコンセプトの内容の説明と事業展開について、作業部会メンバーが委員に対しプレゼンテーションを実施した。また、消費者調査の実施(案)について、田中章雄氏から説明を行った。</p> <p>引き続き同日、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏と清水一徳氏を専門家として招へいして、第5回作業部会を開催し、委員会のプレゼンテーションの報告と具体的な商品について検討を行った。</p>
<p>11. 蒲郡商工会議所（繊維製品）</p>	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H18.8.31～9.5「メゾン・エ・オブジェ展視察」 海外市場調査として、世界各国の生活関連商品を取扱う企業の新開発商品の発表の場であるフランスで開催の国際見本市「メゾン・エ・オブジェ展」に専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)および当産地産元事業者3名参加し、情報収集を実施した。 ・H18.9.13 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。



	<p>・H18.9.20 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。</p> <p>・H18.9.26～27 「専門家による第2回産地技術調査」 産地の企業調査(商品見本・技術調査)。 当地域の現状分析のため、当地域の公設指導機関である愛知県産業技術研究所三河繊維技術センター(2回目)、および産元(寝装関係)、糸、反毛、紡績関係事業所の技術調査を実施。</p> <p>・H18.9.27 「ジャパンブランドセミナー開催」 地域ブランドの本質を理解し、関係者全員がブランドについての理解を深めるため、加藤雄一郎氏(名古屋工業大学大学院工学研究科助教授)によるセミナーを開催し、地域ブランドの意義について理解を促し、意識を高めた。</p> <p>・H18.9.27 「メゾン・エ・オブジェ展視察報告会開催」 日本テキスタイルデザイン協会 理事 杉山哲三氏 同 佐口昌司氏 フランスで開催の国際見本市「メゾン・エ・オブジェ展」の視察報告をパワーポイントにて説明した。</p>
12.	<p>白川村商工会 (薬草・山野草)</p> <p><今月の事業実施状況> 9月は JAPAN ブランド戦略策定支援事業専門委員会を2回開催した。第5回目は今までの白川村の現状や地域資源を活かした事業ブランドのコンセプトについて委員会で検討を行い、「古くから白川人が相互扶助『結』の精神で育んできた心の絆、地域の繋がり、自然の恵みに対して感謝の気持ちを表す『合掌』をブランドコンセプトに決定する。第6回目は、白川村に来村される観光客に対して、現在提供している商品やサービスの評価、また、白川村のイメージを探るための市場調査アンケート内容について委員会にて諮る。</p>
13.	<p>高岡商工会議所 (銅器・漆器)</p> <p><今月の事業実施状況> 工芸都市高岡2006クラフトコンペ審査会「審査員との懇談会」 9月7日(水) 場所:高岡商工ビル、高岡市土蔵造りのまち資料館 今年で20回目を迎えた工芸都市高岡2006クラフトコンペの審査会終了後、審査員と業界関係者、富山大学芸術文化学部(専門家)と、新日本様式等これからのブランドの方向性等について協議した。</p>
14.	<p>大野商工会議所 / 勝山商工会議所 (醗酵食品)</p> <p><今月の事業実施状況> 検討委員会において、コーディネーターより今までの調査の概要報告が行なわれる。委員より、地域に伝わるまだ発掘されていない(隠れた)醗酵食品について調査が不足であるとの意見出され、追加調査をコーディネーターにて、現在わかっているものから調査を行うこととなる。 研修事業として、10月に進事例の秋田県横手市より講師を迎え、「よこて発酵文化研究所」の取組みについて研修会を開催することとなる。また、調査事業については、次回の委員会に、目的・内容・予算を提出し検討することとなる。</p>
15.	<p>鳥取県商工会連合会 (インテリア)</p> <p><今月の事業実施状況> 委員会等の開催は特に無し。</p>
16.	<p>新市商工会 (インテリア)</p> <p><今月の事業実施状況> 9月1日～7日 フランス視察 9/1 移動日 9/2 9:00～17:30 メゾン・エ・オブジェ視察</p>

- 9/3 9:00～20:00 「ジパング」日本伝統産業物の展示会出展 アンケート実施
- 9/4 9:00～14:00 「ジパング」主催者によるセミナー マーケティング・プロモーション等について
14:00～19:30 マレ地区ショッブ視察(市場調査)
- 9/5 9:00～17:00 マレ地区ショッブ視察(市場調査)
- 9/6・7 移動日



メゾン・エ・オブジェ視察(9/2)

- 9月20日(水)19:00～20:20 第3回委員会開催
- 1.第2回～第4回ワーキング委員会の実施内容報告
 - 2.フランス視察報告(概略)
 - 3.ワーキング委員会への課題・要望
 - ・備後絣の統一規格を設定したほうがよいのではないかと投げかけ

9月20日(水)20:30～22:20 第5回ワーキング委員会開催

- 1.フランス視察報告
 - ・情報の共有化(他プロジェクトを含む)
 - ・渡仏3人の感想
- 2.アイテムの整理(集約結果)
- 3.備後絣の統一規格について議論
 - ・3事業所の協力が必要。
- 4.東京・京都の視察を検討の結果、視察決定。



ジパングセミナー(9/4)




ジパング展示会(9/3)

<担当者のコメント>

フランス視察においては、備後絣の評価が良かったのではなく、「和」のものが好評であったのではないかと、との印象を受けた。しかし現地におけるアンケート結果がまだであり、フランス人の反応に関しては、アンケートの分析結果によるもので判断・協議し、方向性を打ち出すべきと感じた。

また多色化の検討、同様商品類(水燃糸)の把握、統一規格の設定等が必要である等が今後の検討課題にあがる。

次回アイテムの整理(意見集約)したものを更に絞り、アイテムを浮かび上がらせて、ブランドを確立する方向。

17.	<p>三加茂町商工会（木製品）</p> <p><今月の事業実施状況> 9月1日～7日 海外市場調査を実施。 パリにてメゾン＆オブジェ視察・カフェJIPANGOにて展示会及びアンケート調査を実施した。 概ね良好な反応であった。 9月21日 ワーキング会議を開催。 ・市場調査の内容について報告。参画事業者の情報共有をはかった。 ・前回決定したコスメグッズの収納などといった商品について各自調査した内容を報告、検討した。</p> <p><担当者のコメント> 海外市場調査を通じて、本会PJの商品の可能性の高さを確認できた。 前回からコスメポーチやジュエリーボックスといった女性のための商品開発の方向性のなかで、参画事業者の中に販路をもつ業者がないので、販路を確保できるかどうかのもっとも大きな課題をクリアせずにはこの企画が倒れてしまうので、今年度中にその問題がクリアできるかどうか大きな課題となってきた。</p>
18.	<p>五十崎町商工会（和紙）</p> <p><今月の事業実施状況> 海外市場調査 9月1日～7日 パリ:参加者6名 第4回戦略策定委員会(9月12日) 協議:フランス視察報告を受け、そこからSWOT分析・ドメインについて協議した。</p> <div style="text-align: right;"> <p>フランス視察(9/1～7) ジパング展示会</p>  </div> <p><担当者のコメント> 海外市場調査として、パリ視察(メゾン＆オブジェの視察・JIPANGOによる展示会)を行った。 メゾンでは、和紙を使った本や壁紙を作成している出展者にそれぞれ話を聞き、どのような和紙が素材として需要があるかなど、シビアな意見を聞いた。 JIPANGOでの展示会では、五十崎独自のアンケートのほか、来場者の意見や感想を直接聞くことで、和紙製品がフランスでどのように評価されるか、実感することができた。 それらの報告を踏まえ、SWOTを拾い出しすることで、どのようなものを、どういう対象に、どんな戦術で、今後和紙産業化を進めていくか、少し見えてきたようである。</p>
19.	<p>香美市商工会（刃物、農機具）</p> <p><今月の事業実施状況> 日 時:平成18年9月15日(木曜日) 参加者:西山 武、秋友 祥造、土佐刃物流通センター、十河 正雄、宗石 博孝、高知県商工会 連合会 吉川、山下 哲、山名 元司、事務局 門田、T.c.k.w 永田 議 題:JAPANブランド検討委員会 内 容:土佐打刃物コンセプト作り(別紙レジメにて協議する)</p>
20.	<p>大木町商工会（花莫蔭）</p> <p><今月の事業実施状況> JAPANブランド視察研修で、ヨ・ロッパの代表的展示会である『メゾン・エ・オブジェ nパリ』をJAPANブランドの委員7名で、8月31日(木)～9月6日(水)までの7日間視察研修した。</p>

	<p>この展示会は、世界のインテリア業界(家具等を含む、すべてのインテリアアイテム)からギフト・雑貨に至るまで、取り扱う見本市で、世界40ヶ国あまりから、約 3,000 社の優秀コレクションを一堂に集めて発表・展示する大規模な展示見本市である。</p> <p>世界的な展示会である「メゾン・エ・オブジェ」を肌で感じて理解をし、各プロジェクト関連のブースを視察見学し、デザイン・機能性・価格等の調査を実施することによって、フランスの市場動向を探り、商品イメージの具体化を図りながら、出展担当者との打合せを実施し、今後の出展可能性を探りながらの、有意義な視察研修であり、又、パリ市内の大型SC、エージェンツ、ディストリビューター等とコンタクトを取り、パリのインテリアショップを視察見学し、市場調査を実施し、今後のい草製品(花菴)の将来性について、大変有意義な視察であった。</p> <p><担当者のコメント> JAPAN ブランド事業について、なかなか事業が進まない状況であり、私もやきもきしている状況です。</p>
21.	<p>小石原村商工会 (陶器)</p> <p><今月の事業実施状況> 9月 1日 調査部会 小石原焼のデザイン研究 9月29日 実行委員会 調査部会の確立及び部会員の補充について</p>
22.	<p>城島町商工会 (瓦インテリア、河川用環境ブロック)</p> <p><今月の事業実施状況> 平成 18 年 9 月 7 日 ~ 8 日 第一回城島瓦 JAPAN ブランド(市場調査部会)視察研修 1. 第 62 回東京国際ギフトショー視察 住まいに関するブースあり。その中で、乾燥したコケを壁に植栽したもの、また、置物にも使用などあり、城島のエコを活用したブロックなどに植栽できないものか? また、ホテルなどビルの屋上にエコブロックの上の上に植物を栽培できないか? 2. 株式会社 JTB 商事 市場開拓のお願い ホテル等の内装、外壁などのトータルコーディネートへのアプローチ カタログ、サンプルを作成送付し、海外への発信できる可能性大</p> <p>平成 18 年 9 月 19 日 第三回城島瓦 JAPAN ブランド(技術部会、デザイン部会)合同会議 1. 用途の方向性 2. 加工技術の方向性</p>
23.	<p>那覇商工会議所 / 国頭村商工会 (三線)</p> <p><今月の事業実施状況> ワーキンググループによる会合を 3 回ほど開催、調査の実施状況は製造業が 10 件、販売流通等が 5 件で、わかったことは、海外からかなりの数の三線が入っているとのことで、業界は一様に危機感を持っている状況である。</p> <p><担当者のコメント> ヒアリングでの反応は、きわめて良好である。8 月後半の Japan ブランド育成支援事業(沖縄三線ブランド化推進事業)についての新聞記事やテレビ放映(地元琉球放送 8/1、8/25、NHK8/30)の影響により非常に協力的である。業界のみならず地域ぐるみでの事業推進が可能となった。</p>